



<前提条件>

- ✓ 長期脱炭素電源オークション、サプライチェーン支援等の制度の適用を通じた、適切な投資回収及び事業性の確保
- ✓ 混焼・専焼のための技術開発の実現、実証試験の成功
- ✓ 混焼率向上・専焼化のために、金融機関から資金調達ができること
- ✓ 10%混焼の運転開始時期は、サプライチェーン支援等の制度適用を踏まえた水素製造等の技術開発や事業の進捗を考慮して決定
- ✓ 混焼開始時におけるブルー水素の利用については、サプライチェーン支援等の制度適用やCCSの開発状況を踏まえて決定
- ✓ 2040年代のブルー/グリーン水素の利用は、経済性や炭素価格等を踏まえて総合的に判断